

麻生区市民健康の森 10 年の活動に協力いただいた方々（順不同）

行政・公的機関

建設緑政局緑政部 麻生区役所区民協働推進部地域振興課 麻生区役所道路公園センター（財）川崎市公園緑地協会（公財）かわさき市民活動センター（財）都市緑化基金（財）かながわトラスト緑財団

学校関係

川崎市立金程小学校 同 西生田小学校 明治大学農学部農学科 倉本宣教授 日本女子大学人間社会学部 田中雅文教授

地元町会など

多摩美町会 若葉町会 四ツ葉町会 扶桑町会 内野自治会 多摩美こぶし町会 多摩美みどり町会 萬年山妙延寺 細山郷土資料館

団体・企業など

川崎市市民健康の森（各区）里山フォーラム in 麻生 多摩美みどりの会 多摩緑地保全地区こもれび会 川崎・多摩美の山トラストの会 早野聖地公園里山ボランティア オーロラ天文台・渋谷星の会 麻生プレーパークを創る会 アンサンブル・アミーチ（株）リコー

個人（敬称略）

北澤 清 高橋 英 佐藤登喜子 友部常松 笠原雪夫 箕輪広実（元そば処櫟） 浜本昌宏 荒瀬順子 村田 恵

10 周年記念誌「麻生多摩美の森 活動記録と森の植物たち」編集委員会

編集委員長 間野 洋

委員 岡村 克彦 小座間 清次郎 勝田 政吾 木村 信夫

<編集後記>

本書は、10 周年を迎えた麻生多摩美の森の会（麻生区市民健康の森）の活動記録であるが、前史として当森周辺で続けられた自然保護運動についても掲載した。初のマンション開発計画が持ち上がったのは 30 数年前。いらい近隣町会・住民による緑を守る運動 20 年を経て、当地の自然を活かして川崎市の事業、市民健康の森づくりが始まった。

その意味で、本誌はふるさとの自然を住民と行政の連携で守り育ててきた地域史でもある。編集の基本資料には、多摩美町会自然保護対策委員会（現多摩美みどりの会）の請願など諸記録、市民健康の森整備構想検討委員会および市民健康の森推進委員会の記録と区長提言、会のスタート以降は各年の活動報告書と会報を用いた。また周辺緑地の保全団体から寄稿をいただいた。たくさんの皆様のご努力・ご支援による活動の集積であり、心から感謝申し上げたい。

改めて活動を振り返ると、緑を守ることから、森を育てることへとさまざまな取組みをしながら、森の恵みを地域の皆さんとともに楽しむ、交流の場が作り出されてきた。

その 10 年の面々に、（公財）かわさき市民活動センターの助成により本書を発行することができた。厚くお礼申し上げますとともに、多摩美の緑地を地域の宝として次代に受け継いでいくための記念誌として、次の 10 年、20 年への取組みをしていきたい。（編集委員一同）